

レジメンコード010032
レジメン名称 1コース目)
投与間隔 14 日
備考

病日 1 日目 ページ数：1/3

<薬品名・用法>	<用量>	<メモ>
点滴注射（D I V） 後）グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL「HK」 ○化学療法で実施 ① 点滴時間 30分	1 袋	
点滴注射（D I V） 生理食塩液(大塚生食注) [50mL/B] ○化学療法で実施 ② 点滴時間 10分	50 m L	
点滴注射（D I V） 大塚生食注 [500mL/袋] ビキセオス配合静注用 寛解導入 ビキセオス100ユニット（単位）/m ² （ダウノルビシン/シタラビンとして44/100mg/m ² ） =====	500 m L 100 単位/m ²	
▼ 調製方法 ▼ 必要バイアル数を冷蔵庫から取り出し室温で30分静置 1バイアルを注射用水19mLで溶解 （5U（単位）/mL（ダウノルビシンとして2. 2mg/mL）） 30秒ごとにゆっくりと上下反転を5分間 ゆるやかに渦をまくように回しながら完全に溶解 その後、室温で15分間静置 必要量を抜き取り生食500mLに希釈 =====		
【調製後4時間以内に投与開始】 ○化学療法で実施 ③ 点滴時間 1時間30分		
点滴注射（D I V） 生理食塩液(大塚生食注) [50mL/B] ○化学療法で実施 ④ 点滴時間 10分 — 以下余白 —	50 m L	

レジメンコード010032
レジメン名称 1コース目)
投与間隔 14 日
備考

病日 3 日目 ページ数：2/3

<薬品名・用法>	<用量>	<メモ>
点滴注射（D I V） 後）グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL「HK」 ○化学療法で実施 ① 点滴時間 30分	1 袋	
点滴注射（D I V） 生理食塩液(大塚生食注) [50mL/B] ○化学療法で実施 ② 点滴時間 10分	50 m L	
点滴注射（D I V） 大塚生食注 [500mL/袋] ビキセオス配合静注用 寛解導入 ビキセオス100ユニット（単位）/m ² （ダウノルビシン/シタラビンとして44/100mg/m ² ） =====	500 m L 100 単位/m ²	
▼ 調製方法 ▼ 必要バイアル数を冷蔵庫から取り出し室温で30分静置 1バイアルを注射用水19mLで溶解 （5U（単位）/mL（ダウノルビシンとして2. 2mg/mL）） 30秒ごとにゆっくりと上下反転を5分間 ゆるやかに渦をまくように回しながら完全に溶解 その後、室温で15分間静置 必要量を抜き取り生食500mLに希釈 =====		
【調製後4時間以内に投与開始】 ○化学療法で実施 ③ 点滴時間 1時間30分		
点滴注射（D I V） 生理食塩液(大塚生食注) [50mL/B] ○化学療法で実施 ④ 点滴時間 10分 — 以下余白 —	50 m L	

レジメンコード010032
レジメン名称 1コース目)
投与間隔 14 日
備考

病日 5 日目 ページ数：3/3

<薬品名・用法>	<用量>	<メモ>
点滴注射（D I V） 後）グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL「HK」 ○化学療法で実施 ① 点滴時間 30分	1 袋	
点滴注射（D I V） 生理食塩液(大塚生食注) [50mL/B] ○化学療法で実施 ② 点滴時間 10分	50 m L	
点滴注射（D I V） 大塚生食注 [500mL/袋] ビキセオス配合静注用 寛解導入 ビキセオス100ユニット（単位）/m ² （ダウノルビシン/シタラビンとして44/100mg/m ² ） ===== ▼ 調製方法 ▼ 必要バイアル数を冷蔵庫から取り出し室温で30分静置 1バイアルを注射用水19mLで溶解 （5U（単位）/mL（ダウノルビシンとして2. 2mg/mL）） 30秒ごとにゆっくりと上下反転を5分間 ゆるやかに渦をまくように回しながら完全に溶解 その後、室温で15分間静置 必要量を抜き取り生食500mLに希釈 ===== 【調製後4時間以内に投与開始】 ○化学療法で実施 ③ 点滴時間 1時間30分	500 m L 100 単位/m ²	
点滴注射（D I V） 生理食塩液(大塚生食注) [50mL/B] ○化学療法で実施 ④ 点滴時間 10分 — 以下余白 —	50 m L	